

### ③タンク下側から漏れている

●タンクとポンプの接続ホースの接続不良や亀裂などの破損を確認

▶接続不良が確認されたらホースをしっかりはめ直し、ホースバンドでしっかり固定。

▶ホースの破損の場合は交換。(販売店・メーカーに相談)



### ④吐出口から漏れている

●噴霧ホースの接続部の緩みの確認  
●噴霧ホースのパッキンに異物の付着や亀裂などを確認

▶異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。



## 作業終了後に必ず行うこと

ちゃんと  
できたら  
チェック

### ①薬剤をタンクから抜く

ドレンキャップを緩めると残留薬剤が排出されます。

▶薬剤の製造者、販売者の指示に従い薬剤を処理してください。



### ②薬剤タンクに水を入れて洗浄噴霧をする

●タンクに清水を入れ噴霧を行い、ポンプ内、ノズル、ホースの洗浄を行う。

▶怠ると弁が固着し噴霧ができない原因になります。弁の固着を除去するには、分解が必要になります。



### ③燃料を抜く、使い切る

●本体を傾け燃料を抜くかオイルチェンジャー等で抜く。

●ガス欠になるまでエンジンをかける。



## 燃料の取扱い

ちゃんと  
できたら  
チェック



### ①使い切る **ポイント**

作業終了後に清水による洗浄噴霧運転で燃料を使い切る。



### ②余った場合でも1ヵ月以内に使い切る

万が一余った燃料は密閉容器に入れ、冷暗所に保管し1ヵ月以内に使い切る。



## エンジンオイルの取扱い

ちゃんと  
できたら  
チェック



### ①エンジンオイルは必ず入れる

怠るとエンジンが焼き付き、使用できなくなる。



### ②エンジンオイルは定期的に交換

初回は1ヵ月後又は20時間使用後に交換  
次回は3ヵ月毎又は50時間使用後に交換



## トラブルを未然に防ぐ



確認  
できたら  
チェック

動画をご覧いただくことでほとんどのトラブルを回避できます。

動画はコチラ



①正しい組立て・燃料づくり・運転操作をすることでストレスなくご使用いただけます。

**組立てのポイント** **運転操作の仕方** **エンジン始動テスト**



②作業終了後に行うことで、次回快適にご使用いただけます。

**作業終了後に必ず行っていただきたいこと**



③お困りごとが解決できます。

**エンジンがかからない!** **噴霧できない!** **水が漏れる!**



HAIGE ハイガー産業株式会社

お問い合わせ



24時間 365日  
無休受付

カスタマーサポートセンターお問い合わせ窓口  
<https://haige.jp/c/>



無断複製および転載を禁ず 2021.3

取扱説明書と併用してください。

# チェックして Go!

保存版

このガイドでできること

**1**トラブルを未然に防ぐことができる **2**トラブルを自己解決できる

4 ストロークエンジン噴霧器

※機種により仕様が異なる場合があります。

## 使用前の準備

ちゃんと  
できたら  
チェック



①8mm、12mm スパナ、14mm スパナ又はペンチやプライヤーをご用意  
アクセルレバーとグリップを取付ける際に使用。



②無鉛レギュラーガソリンをご用意  
・燃料タンク容量：0.8L



③エンジンオイルをご用意  
・推奨オイル：4ストロークガソリンエンジン専用  
100% 化学合成油 SAE10W-30  
・オイルタンク容量：0.1L



## エンジン始動テスト

取扱説明書  
P.17に掲載



ちゃんと  
できたら  
チェック

### ①噴霧ホースは本体から外す



## ②薬剤タンクに水を入れる

清水を 2L 程度入れます。  
空運転は厳禁！

**ポイント**

▶「水の漏れの確認」場合は P.4 へ



## ③エンジンオイルを給油

SAE10W-30 をオイルゲージで確認しながら給油。

▶取扱説明書 P.14 に掲載



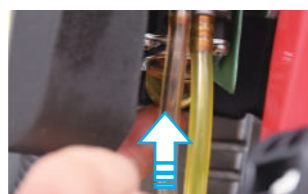
## ④燃料を燃料タンクに入れる

無鉛レギュラーガソリン



## ⑤プライマリーポンプを押す

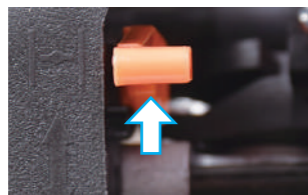
燃料を引き出します。  
燃料がプライマリポンプに溜まり、透明の戻りホースに気泡が出たら OK。



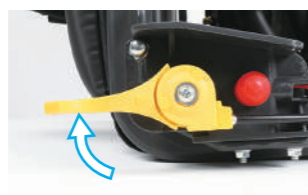
## ⑥チョークレバーを上にする

エンジンが冷えている場合

▶外気温に関係なく、エンジンそのものが冷えている場合で、翌日の再始動などがこれに当たります。



## ⑦アクセルレバーを全体の 1/4 ~1/2 の位置にする



## ⑧リコイルスターターを正しく引く

▶取扱説明書 P.19 に掲載

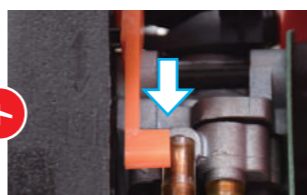
**ポイント**



## ⑨初爆(ブルン!というかりそへな音)が確認できたらチョークレバーを下にする

**ポイント**

▶取扱説明書 P.20 に掲載



## ⑩再度リコイルスターターを引くとエンジンがかかる

アクセルレバーを徐々に上に上げると吐出口から水が出る。



## エンジンがかからない

確認が  
できたら  
チェック

症状・原因	対処	確認が できたら チェック	
古い燃料を使用している	新しい燃料と交換 ▶取扱説明書 P.24 に掲載	☑	
燃料が入っていない	燃料を入れる	☑	
エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く	☑	
エンジンオイルが少ない	オイルを補充	☑	
エンジンオイルにガソリンが混入	清掃・交換	☑	
チョークレバーを上げずにリコイルを引いている	チョークレバーを上にする 初爆が確認できたらチョークレバー下げてリコイルを引く(エンジン始動テスト⑧参照)	☑	
初爆を聞き逃し、リコイルを引き続け、点火プラグが燃料で濡れている	いわゆる「かぶり状態」のため、点火プラグ、ピストン内部を乾かす ▶取扱説明書 P.30 に掲載	☑	
点火プラグ不良・キャップの接続不良	点火プラグ先端と接続部分の確認と火花の確認 ▶取扱説明書 P.27 に掲載	☑	
プライマリーポンプに燃料が来ていない	燃料ホースの詰まりや亀裂	清掃・交換(販売店・メーカーに相談)	☑
	プライマリーポンプに亀裂	交換(販売店・メーカーに相談)	☑
	燃料タンク内の錆や異物の詰まり	清掃	☑

## 水が出ない(噴霧できない)

確認が  
できたら  
チェック

### ①吐出口から水が出るか確認

吐出口に噴霧ホースをつなぐ前にエンジンをかけ、水が出るか確認。

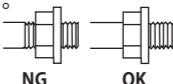
▶水が出ればノズルとグリップの接続に問題があります。



### ②ノズルとグリップの接続方法が間違っていないかを確認



**1** ノズルのナットを指で止まるところまで時計回りに回します。  
**2** グリップを取付け、回るところまで時計回りに回します。  
**3** グリップを握り固定させ、ノズルのナットをスパナやペンチ等で締付けます。



### ③薬剤による弁の固着

使用後の洗浄を怠ると薬剤が固まり弁が固着し、水が出なくなる。

**ポイント**



## 水が漏れる

確認が  
できたら  
チェック

### ①水がどこから漏れているか確認



### ②タンクドレンから漏れている

- キャップが閉まっているか確認
- パッキンの確認

▶異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。

